

清水町議会 全員協議会説明資料

清水町人口ビジョン・総合戦略における

平成 28 年度実施事業評価について

【添付資料】

平成 28 年度清水町人口移動集計表

清水町人口ビジョン・総合戦略【平成 28 年度実施事業評価】

清水町総合計画審議会（平成 29 年 5 月 29 日開催）会議結果概略

平成 29 年 6 月 27 日

清 水 町

【資料1】

平成28年度 清水町人口移動集計表

	転入					出生	転出					死亡	世帯数	人口
	管内	道内	道外	国外	合計		管内	道内	道外	国外	合計			
3月末													4,700	9,798
4月末	43	30	20	2	95	2	32	23	15		70	6	4,727	9,819
5月末	6	4	8		18	2	9	6	5	3	23	9	4,715	9,807
6月末	3	6	2	1	12	2	9	9	4	1	23	5	4,712	9,793
7月末	11	4	9	3	27	3	14	6	1	1	22	4	4,711	9,797
8月末	9	8	4	1	22	6	11	7	4	2	24	12	4,711	9,789
9月末	7	4	7	4	22	6	10	5	7	1	23	9	4,711	9,785
10月末	6	8	1	1	16	3	16	6	7	2	31	7	4,703	9,766
11月末	8	6	4	3	21	7	15	5	5	6	31	12	4,695	9,751
12月末	7	6	2	2	17	5	9	4	4		17	15	4,687	9,741
1月末	4	2	4		10	3	7	1	4	5	17	17	4,682	9,720
2月末	1	7	1	2	11	3	15	20		2	37	11	4,667	9,686
3月末	40	23	18		81	1	65	26	18	2	111	10	4,677	9,647
H28合計	145	108	80	19	352	43	212	118	74	25	429	117		

(H28合計) 転入者数合計 352人 転出者数合計 429人 社会増減 △77人
 出生数合計 43人 死亡者数合計 117人 自然増減 △74人 合計 △151人

人口動態の推移

	転入数	出生数			転出数	死亡者数	増減
		清水地区	御影地区	合計			
H25年度	371	57	12	69	426	133	△119
H26年度	362	49	16	65	376	127	△76
H27年度	420	52	10	62	409	121	△48
H28年度	352	38	5	43	429	117	△151

(参考)

人口の見通し(2020年)	2016年3月末	2017年3月末		
総人口	9,798人	9,647人	△151人	約1.5%減
年少人口 0～14歳	1,106人	1,056人	△50人	
生産年齢人口 15～64歳	5,349人	5,226人	△123人	
65歳以上	3,343人	3,365人	22人	
(75歳以上)	1,817人	1,823人		
				国内総人口 0.13%減
				道内平均 0.61%減
				管内平均 0.53%減
				管内町村計 0.86%減
				(管内町村上位 1.00%増22人)
				(管内町村下位 2.55%減129人)

清水町人口ビジョン・総合戦略

【平成 28 年度実施事業評価】

事業評価

- 評価区分 A = 重要業績評価指標 (KPI) を達成、又は計画期間内の達成が見込まれる
B = 重要業績評価指標 (KPI) を達成するため、更なる推進・強化が必要
C = 重要業績評価指標 (KPI) を達成できないことが見込まれるため、計画の見直し (廃止) が必要
— = 平成 29 年度以降実施予定の事業

1 まちの産業を確立し、安心して働けるようにする

<基本的方向>

(1) 基幹産業である農畜産業と関連産業の成長による安定した雇用を創出するとともに、高付加価値型商品・サービスを開発する

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成28年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>農業振興対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上、経営負担の軽減、耕畜連携・循環型農業の推進、輪作体系の維持、ブランド化推進に対して支援することにより、持続可能な農畜産業の振興を図る (担当：農林課) <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生乳生産量5年後に12万t (変更後 12万3千t) デントコーン耕畜連携 作付助成面積 5年後に100ha にんにくの作付面積 5年後に27ha にんにくの販売量 5年後に132t 堆肥ペレットの販売数 5年後に30,000袋 (1袋正味6kg) 	<ul style="list-style-type: none"> 生乳生産量 H28-120,865t デントコーン耕畜連携 作付助成面積 109.5ha 助成額 150万円 (一般財源) にんにくの作付面積 23ha にんにくの販売量 57t 種子生産に対する補助 1/2 以内 助成額 500千円 (一般財源) 堆肥ペレットの販売数 27,623袋 (1袋正味6kg) 助成額 5,525千円 (一般財源) 	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生乳生産量12万トン達成により、KPIを12万3千tに修正し、各事業実施により生産増を更に推進する。 デントコーン耕畜連携の作付助成面積達成により、助成基準を変更し実施する。 (基準年 H19→H26) 今後にもんにくの栽培に対し助成し、更に作付面積・販売量増を推進する。 1袋に対し200円の助成を実施しているが、今後も継続し販売数増を推進する。

<p>企業立地促進事業</p> <p>・企業の振興と立地を促進し、経済の発展と雇用機会の拡大を図るため、町内に工場や小規模な工房等を新設・増設し、町民を雇用した企業に対して支援する。(担当:商工観光課)</p> <p style="text-align: right;">産業振興</p>	<p>・助成制度による新設・増設件数 5年間で3件</p> <p>・助成制度による町民新規雇用数 5年間で12人</p>	<p>・増設2件</p> <p>1. 固定資産相当分+雇用分2人</p> <p>2. 雇用分2人</p> <p style="text-align: right;">2,616千円 (一般財源)</p> <p>(平成27年度合計)</p> <p>・新設1件、増設3件</p> <p>・新規雇用数11人</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・企業立地の要件とする投資額(新設、増設)は内容を満たすが、雇用数(町内在住者、常勤)を満たすことが難しい状況がある。</p> <p>・雇用者数の不足が顕在化する中で、雇用内容の要件緩和をするか否かの検討をする。</p>
<p>バイオマス利活用促進事業</p> <p>・家畜ふん尿の有効利用により、資源循環と有機農業を推進し、酪農家のコスト削減等による生産性の向上と雇用創出を図るとともに、環境配慮・安心安全な農業の実施による町のイメージアップを図る。(担当:農林課)</p> <p style="text-align: right;">産業振興</p>	<p>・農業系バイオマスの製造又は供給する施設の処理対象戸数 5年後に5戸</p> <p>・事業による雇用創出数 5年間で10人</p>	<p>・施設建設の可能性について、様々な面からの調査を実施した。(マスタープラン作成)調査結果に対し、検討委員会において協議を行った。</p> <p>・バイオマスプラント1基稼動。</p> <p style="text-align: right;">調査費 29,345千円 (新エネルギー導入促進協議会補助金 27,373千円)</p> <p>(平成27年度合計)</p> <p>・バイオマス施設 1戸</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・協議実施により、プラント建設に向けた複数農家の出資などによる会社の設立が予定されている。</p> <p>・施設建設等推進に助成措置などを実施し、農業系バイオマスの稼動及び供給雇用創出数の増を推進する。</p>
<p>経営力向上支援事業</p> <p>・農業経営者等を対象に、生産技術と知識、ビジネス感覚を高める研修や経営者同士の情報交換の機会を増やし、個人農家の収益向上を図る (担当:企画課・農林課)</p> <p style="text-align: right;">産業振興</p>	<p>・農業従事者1人当たりの収入向上 5年間で5%増</p>	<p>アグリビジネススクール開催</p> <p>・受講者数 24名</p> <p>・講座回数 4回</p> <p>・シンポジウム 来場者数 100名</p> <p style="text-align: right;">事業費 2,357千円 (地方創生加速化交付金 10/10)</p> <p>・平成28年度実績は現在未定 (平成27年度実績)</p> <p>・18%増</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>・当初予定していた6回の講座を、台風災害の影響を受け4回の開催となったが、受講者からの継続要望も強く、1年目の講座内容等の検証を行い、更に継続して実施する。</p> <p style="text-align: right;">予算額 1,480千円 (地域づくり交付金予定 1/2)</p>

<p>農業研修生受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農を目指す若者・女性の農業研修生受入れを支援する <p>(担当：農林課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業研修修了生 <p>5年間で100人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業研修生受入推進の仕組みや受入れ体制構築に向けた調査委託を実施した。 <p style="text-align: right;">4,234千円 (地方創生加速化交付金 10/10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業研修生受入推進協議会を設立し、先進地視察等を実施した。 <p style="text-align: right;">544千円 (地方創生加速化交付金 10/10)</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農を目指す若者・女性の農業研修生受入れを支援する体制の構築は重要である。 ・体制づくりの構築を更に推進する。
<p>食品加工・製造研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工品製造販売を目指す者が、製品の開発研究を行える機会を提供して、事業化の機運を醸成する <p>(担当：農林課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発研究実績 <p>5年間で10品目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿追町ワーキングセンター（食品加工施設）視察を実施した。 	<p style="text-align: center;">B</p>	<p>畜産研修センター内に食品加工・製造設備を整備し、各種加工製造に係る講習会等を実施することを検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状では難しいと思われるが、今後の対応について検討する。
<p>食品試験・分析費用支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の成分、栄養等に関わる試験分析を、研究機関に委託する経費を支援し、事業化を支援する <p>(担当：農林課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発研究実績 <p>5年間で20件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は、特産品開発事業において4件4品目の開発を行った。 <p style="text-align: right;">補助金 4,352千円 (地方創生加速化交付金 10/10)</p> <p>(平成27年度合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発研究実績4件 	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は「特産品開発事業」（単年度事業）において、食品試験・分析も同時に実施。 ・現在2件の問い合わせがあり、今後も事業の周知を推進する。

<p>新規開店者・空き店舗活用開店者支援事業</p> <p>・市街地の新規開店・空き店舗活用支援策の対象区域について、現行市街地の指定区域外も支援対象区域とし、更に若者や女性の起業者を限定し、資金メニューの拡充を図り事業推進を支援する</p> <p>(担当：商工観光課) 定住促進</p>	<p>・新規事業者 5年間で5件</p>	<p>・新規実績なし</p> <p>平成28年度</p> <p>・家賃補助 (H25.5～H28.4) 1ヵ月分 (H25.12～H28.11) 8ヵ月分 合計 217千円 (一般財源)</p>	<p>B</p>	<p>・H26年度から新規開店がない状況の中で、H28年度から対象区域を拡大したが、新規開店はなかった。</p> <p>・H29年度中に2件、開店希望の相談がある。</p>
--	--------------------------	---	----------	--

(2) 若者や女性、意欲のある者が起業しやすい環境づくりを進める

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成28年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>担い手対策事業</p> <p>・担い手コーディネータを設置し、農業実習(研修)生の受入れ、新規就農者に対する各種支援や研修会の開催など青年就農者の確保・育成や児童等を対象としたファームスクールの開催による農業に対する理解の醸成、後継者の花嫁対策などを実施する</p> <p>(担当：農林課) 定住促進</p>	<p>・農業実習生の受入れ紹介数 5年間で10件</p> <p>・農業塾の新規入塾者数 5年間で25人</p> <p>・農業塾の開催講座数 5年間で25回</p> <p>・女性との交流会への参加人数 5年間で50人</p>	<p>・農業実習生の受入れ紹介数 水戸農高5件、岐阜農高1件 31千円(一般財源)</p> <p>・農業塾の入塾者数9名</p> <p>・農業塾の開催講座数4回 53千円(一般財源)</p> <p>・女性との交流会への参加人数 19人 219千円(一般財源) (平成27年度合計)</p> <p>・農業実習生の受入れ紹介数6件</p> <p>・農業塾の新規入塾者数 14人</p> <p>・農業塾の開催講座数 6回</p> <p>・女性との交流会への参加人数 69人</p>	<p>A</p>	<p>・農業実習生の受入れ体制づくりが重要ではあるが、現在のところ構築までには至っていない。</p> <p>・新規就農者に対する支援や、農業塾(担い手コース)の実施により、農業者の育成を推進する。</p> <p>・交流会への参加を呼びかけ、後継者対策を推進する。</p>

新規開店者・空き店舗活用開店者支援事業（再掲） （担当：商工観光課） 定住促進	（再掲項目につき、記載を省略します）	（再掲項目につき、記載を省略します）	（再掲項目につき、記載を省略します）
---	--------------------	--------------------	--------------------

(3) 町民や事業者の需要を取り込み、町内の経済循環性を高める仕組みを作る

<具体的な施策>

P 施策 （事業内容）	重要業績評価指標 （KPI）	D 平成28年度実施内容 （実施に伴う事業費等）	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
農業施設整備奨励事業 ・町内の建設業等が施工する農業施設整備を行う者に対しての支援を、町内で流通する商品券で交付して、農畜産業の生産力強化と町内経済循環を図る。（担当課：農林課） 産業振興	・該当事業経費実績 5年間で事業ベース6,000万円の経済効果	・交付実績9件 工事額：14,433千円 交付額：1,374千円 ※ハーモニー商品券 （一般財源） （平成27年度合計） 事業ベース：59,097千円	A	・KPIで設定した経済効果に限りなく近づいている。 ・町内業者の活用と町内で流通する商品券の交付により、町内経済循環を図るため、継続して実施する。 （平成29年度予算額） 2,000千円（一般財源）

<p>住宅リフォーム・太陽光発電システム導入奨励事業</p> <p>・町内の建設業等が施工する住宅リフォーム等を行う者に対しての支援を、町内で流通する商品券で交付して、町内の住環境の整備を促進し、町内経済循環を図る</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<p>・該当事業経費実績</p> <p>5年間で事業ベース</p> <p>2億5,000万円の経済効果</p>	<p>・リフォーム37件</p> <p>・太陽光0件</p> <p style="text-align: right;">交付額 3,208千円</p> <p style="text-align: right;">※ハーモニー商品券 (一般財源)</p> <p>経済効果</p> <p>・工事費用 14業者 68,220千円</p> <p>(平成27年度合計)</p> <p>経済効果</p> <p>・工事費用 1億4,872万円</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>・町内の利用が促進され、域内経済の循環に寄与している。</p> <p>今後も定期的に町民周知を図る。</p>
--	---	---	--------------------------------------	---

(4) 正規雇用につながる取組みを進める

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成28年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>業務資格取得支援事業</p> <p>・事業所が従業員及び内定者に、業務に必要な資格を取得させるために必要な研修、資格取得受験に対して支援を図る</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<p>・資格取得者</p> <p>5年間で10人</p>	<p>・制度未制定</p> <p>・制定に向け内容等の検討を継続</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p>・職場の雇用状況、環境等と各職場の必要資格とのマッチングを効果的に進めるため、調査研究を継続し、H29年度中に制度を確定し、H30年度運用開始を目指す。</p>

2 まちにひとの流れをつくる

<基本的方向>

(1) 地域資源を発掘・活用し、町民全体で情報共有して町内外に発信することで、市街地に人の流れをつくり、交流人口の拡大を図る

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成28年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>観光情報発信拠点強化事業</p> <p>・町内観光事業者と連携し、観光情報・物産情報の発信の充実や、提供を行う拠点を整備することなどにより、来町者の町内回遊を図る（観光パンフレット、ホームページ等の充実（インバウンド対応等）、情報発信拠点強化など）</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<p>・町内滞留人口の増加</p> <p>5年間で観光入込実績10%増加を達成する。</p>	<p>・ハーモニープラザ1階に十勝清水観光情報ステーションを6月1日に開設した。</p> <p style="text-align: center;">委託料及び工事費 3,311千円 (地方創生加速化交付金 10/10)</p> <p>・十勝千年の森マンサードホール内に清水町物産販売特設会場を4月29日から11月3日まで設置した。</p> <p>・観光パンフレット作成 501千円</p> <p>・インターネットショッピングサイト運営 261千円</p> <p>・どさんこプラザ物産販売 248千円</p> <p>・さっぽろオータムフェスト出店 693千円 (地方創生加速化交付金 10/10)</p> <p>実績</p> <p>・平成26年度 53,900人</p> <p>・平成27年度 60,700人</p> <p>・平成28年度 41,000人</p>	<p>A</p>	<p>・清水町観光資源再生基本ビジョンを具体化するために、商工会、農協、役場の実務者が横断的な組織である情報発信拠点整備検討・実践会議を組織し、本町の特産品と食の振興が現状の観光振興における一番効果的な起爆剤であるという観点から、ハーモニープラザと十勝千年の森における実験的な取り組みを実践しながら、本町にあった情報発信の在り方を検討する初年度としての事業が実施できた。</p> <p>・ただし、台風災害の影響は多大であり、次年度以降、影響を受けたものの修正が必要となっている。</p>

<p>まちの魅力発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民自身がまちの魅力を再発見、理解し発信するための事業を実施する <p>(担当：企画課)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度実施に向け検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な事業内容を検討する。
--	--	---	---

定住促進

(2) PR 活動や交流人口の拡大の取組みと連携しつつ、受入体制を整備し、大都市圏などから UIJ ターンを増加させる

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 28 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>移住交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町へ移住を希望する方の相談に応じる「移住相談ワンストップ窓口」の設置と、本町に多様な人材の移住を実現するため、都市圏の就職フェア・移住フェアに積極的に参加するなど、情報発信を通して、移住人口、交流人口の増加。移住体験用住宅による体験移住受入れ。今後、空き家バンク等、斡旋を含めた住宅情報の提供体制整備を検討する。 <p>(担当：商工観光課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移住件数 5 年間で 15 世帯 (30 名) ・同相談件数 5 年間で 450 件 ・移住体験住宅利用件数 5 年間で 60 件 ・同利用日数 5 年間で 1,500 日 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住件数 4 世帯 13 人 (芦屋市、尼崎市、中頓別市、札幌市) ・移住相談件数 9 件 ・移住体験住宅利用件数 清水 2 件 3 人、御影 5 件 10 人 ・移住体験住宅利用日数 (延べ) 清水 44 日間、御影 99 日間 ・移住促進業務委託料 200 千円 ・北海道移住促進協議会負担金 50 千円 (一般財源) (平成 27 年度合計) ・移住件数 8 世帯 (19 人) ・移住相談件数 65 件 ・移住体験住宅利用件数 20 件 ・同利用日数 444 日 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談ワンストップ窓口での相談を丁寧に行い、首都圏での移住フェアにつなげる。 ・台風 10 号災害により清水移住体験住宅が損壊し、御影住宅 1 棟での運営となった。また、現状被災者が入居しており、災害以降の使用ができなくなっている。 ・建設業協会との連携に関し、空き地、空き家の情報収集に一定の目途が立ち、H29 年度中に情報提供が可能となる見込み。

定住促進

<p>地域おこし協力隊定住支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の制度を活用することによって、地域おこし協力隊の職や定住に掛かる支援を行う (担当：企画課) <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員の定住 5年間で3人 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度末は、5 名の隊員が在任し、各種研修会に参加。その他、地域の活動にも積極的に参加している。 ・3 年目隊員 3 名・2 年目隊員 2 名 <p>(平成 27 年度合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住 2 人 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度、任期満了を迎える隊員に対し、定住に向けた支援策を検討する。 ・平成 29 年度、新たに 2 名の方の募集を行っている。
<p>日本学生支援機構奨学金返済支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の返済をしながら町内に在住している者に、年間返済額の一部を支援 <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内就職者 5年間で10人 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度以降の実施に向け、検討を行う。 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の雇用不足対策の解消のため、効果的な事業を検証していく。

(3) 起業者や有資格者の若い世代を引き込むような仕掛けづくりを進める

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 28 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>移住交流促進事業 (再掲)</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>		<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>

<p>清水町奨学金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 清水町奨学金条例の運用を再開して、人材育成と町内雇用の改善、町内定住者への支援を図る。農業、商工業、医療業の従事者に適用している償還免除規定を福祉職にも拡大する <p>(担当：学校教育課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町内就職者 <p>5年間で10人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 清水町奨学金条例の運用を再開。 償還免除規定に福祉職を追加。 貸付状況 1件 <p style="text-align: right;">780千円 (一般財源)</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> 償還免除規定に福祉職を追加し、町内にUターンするための誘引策を制度化した。 貸付の申し込みについて、再開にあたり3月下旬から町ホームページ、広報お知らせ版4月号により周知したが、申し込み件数は1件のみだった。 周知については、再度期間を延長し行ったが、今後も周知徹底に努める。
---	--	---	---

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 若い世代の経済的安定と様々な支援を図り、結婚の希望をかなえる

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成28年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>結婚支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代に出会いの場を設け、婚姻率を高める <p>(担当：農林課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> カップル成立 <p>5年間で10件達成</p>	<p>平成28年度から実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内外での結婚希望女性とのカップリング等への参加及び実施。 (札幌2回、十勝2回、町内1回) 町HP広告で女性6名が来町。 <p>・カップル成立 9件</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加者への事前指導などにより、カップル成立並びに結婚への支援をする。

(2) 専門的な支援や社会・経済・職場環境の整備により、出産や育児にかかる負担や不安の軽減を図り出産の希望をかなえる

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 28 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>不妊治療支援事業</p> <p>・特定不妊治療費を支給する制度を拡充・PRして、特定不妊治療に取り組んでいる町民の希望を後押しし、出生数の増加につなげる</p> <p>(担当：保健福祉課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<p>・サービス利用回数 5年間で延べ50回</p>	<p>・サービス利用回数5回 町助成額 1,086千円 (一般財源)</p> <p>(平成27年度合計)</p> <p>・サービス利用回数11回</p>	A	<p>・平成28年度より、特定不妊治療費用の助成に加え、男性不妊治療費の助成にも拡大した。また、補助額の上限をそれぞれ30万円に増額したことにより手厚い支援体制となった。今後も周知の徹底を推進する。</p> <p>(平成29年度予算額)</p> <p style="text-align: right;">1,510千円 (一般財源)</p>
<p>健やかな出産支援事業</p> <p>・町で一部負担している妊婦健診について、受診費用の自己負担をなくして受診を促進し、妊婦への予防接種支援、ママパパ学級の実施、妊婦の事前登録により緊急時の救急車による搬送支援などと合わせてより安全な出産につなげる</p> <p>(担当：保健福祉課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<p>・妊婦健診必要回数の完全受診者 5年間で95%達成</p>	<p>・妊婦健診助成件数：37件</p> <p>・妊婦健診必要回数の受診者100% 町助成額 620千円 (一般財源)</p>	A	<p>・平成28年度は未受診者妊婦や、必要回数を受診していない妊婦はいなかった。妊婦健診費用の無料化は、妊婦から好評であり、必要回数を受診に繋がっている。</p> <p>今後も、お知らせ版での周知を定期的に行い、妊娠・出産の支援を継続していく。</p> <p>(平成29年度予算額)</p> <p style="text-align: right;">1,950千円 (一般財源)</p>

<p>紙おむつ購入助成事業 まちの子宝ありがとう事業 【拡充】</p> <p>・町民の出産に感謝し、子育て世帯の経済的負担軽減のために、紙おむつ購入費の助成、出産祝い金を支給する。 (担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<p>・支援件数 5年間で300件</p> <p>・5年間の出生数合計 296人 (清水町人口ビジョンから算出)</p>	<p>・平成28年度実績 48件 助成券発行額 591千円 (一般財源)</p> <p>(平成27年度合計)</p> <p>・支援件数 117件</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・出生数が減少傾向にある中、紙おむつ以外の子育て支援の方策を検討。平成29年度から子育て世帯の負担を軽減し、子育てしやすいまちを実現するため、出産祝い金を支給する。 (祝い金は現金及びハーモニー商品券)</p>
<p>子育て支援環境づくり事業</p> <p>・各団体と共催し、父親向けの講演会、親子のあそびの場を提供して、町ぐるみで子育てを支える環境づくりをする。 (担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<p>・参加者数 年間200名</p>	<p>・平成29年度に開催を検討する。</p>	<p style="text-align: center;">-</p> <p>・現在、町民団体が事業の実施を検討しており、町としては団体と協議を行い協力して開催出来るよう計画している。</p>
<p>子育て用品貸出し事業</p> <p>・チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッド、ベビーバスなど、子育てに必須の道具を貸し出し、子育て家庭の負担軽減を図る。 (担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<p>・貸付実績 5年間で50%増</p>	<p>H28年度実績 ()は保有台数</p> <p>・チャイルドシート：137件(72)</p> <p>・ベビーカー：12件(11)</p> <p>・ベビーラック：7件(7)</p> <p style="text-align: right;">備品購入費 982千円 (一般財源)</p> <p>・ベビーカー、ベビーラックは反響が大きく、貸出し開始から間もなく全てが貸出し状態となった。 (平成26年度)</p> <p>・チャイルドシート 98件</p> <p>・貸付実績 40%増</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>・ニーズに対して保有台数が不足していることや、チャイルドシートの中には老朽化しているものもあるため、今後継続的に購入し対応する。 (平成29年度予算額) 565千円 (一般財源)</p>

<p>地域の子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て援助を受けたい依頼会員と援助を行いたい提供会員の登録と調整により、子育ての相互援助を行う事業のサービス提供会員増員と技能向上や支援の拡充を図り、病後児の預かりなど対応の幅を広げ、サービスの向上を図る。また、10ヶ月未満の子供を地域の個人に預け、保育料を支払っている場合に、一部助成し、地域の中で子育て支援を推進する。 <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの利用時間 5年間で20%増 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの利用時間は1,149時間 ・会員数は、提供会員3名、依頼会員7名、両方会員2名の増がある。 ・提供会員の技能向上のために提供会員育成講習会を実施 ・乳児保育金利用数：3件 <p style="text-align: right;">報償費 400千円 乳児保育金 775千円 (一般財源)</p> <p>(平成26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間 314時間 ・366%増 	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は特定の利用者の継続的利用があったため急激な増加となった。H29年度も同様に見込まれる。H30年度以降は平常の量が見込まれるため、KPIの変更はしない。 ・子育てサポートしみずの会員数は増えているものの、サービスの向上、支援の拡充のためには、更に提供会員の増員が必要である。引き続き、勧誘活動を強化する。 <p style="text-align: right;">(平成29年度予算額) 報償費 294千円 乳児保育金 440千円 (一般財源)</p>
<p>子育て世帯保育料等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の児童を有する世帯において、第1子が中学生以下であれば第2子以降の保育料、保育所通所タクシー料、幼稚園保育料を無料として、多子世帯の育児の負担を軽減する。 <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所待機児童ゼロを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所待機児童数 0人 ・多子無料化児童数 (H28当初) 保育所児童：170人/266人 幼稚園児童：23人/40人 通所タクシー：22人/25人 	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童はゼロを継続中 ・保育料を無料とすることで、保護者の経済的負担を軽減した。H28年度からは第1子の年齢要件を撤廃し、多子世帯の経済的軽減措置を拡大した。今後も継続し実施する。

<p>子育て定住促進住宅取得奨励事業</p> <p>・子育て世帯の定住促進策として、町内への住宅新築を支援する。</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">定住促進</p>	<p>・新築住宅戸数</p> <p>5年間で10%増</p>	<p>平成28年度から実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築(町内業者) 5件 交付額 5,000 千円 ・新築(町外業者) 7件 交付額 5,600 千円 ・中古住宅 0件 合計交付額 10,600 千円 (一般財源) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の目標個数を下回ったが、子育て世帯からは大変喜ばれている。 ・H28年度からの運用なので、周知不足は否めず、今後、町広報での周知のほか、建設業協会会員からの働きかけにより制度の認知度を向上させる。
---	--------------------------------	---	---	--

(3) 地域資源を生かした特色のある教育や子育て環境を整備し、子育て世帯から選ばれるまちを目指し、若い世代の定住・移住を図る

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成28年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>地域の特色を生かした教育推進事業</p> <p>・幼児期から英語に触れ、小学校で実施する英語活動の準備をする。また、将来、日常のコミュニケーションができるよう、小学校低学年からの英語活動(小学1年～4年まで)を推進する。</p> <p>臨時教諭を採用し、小学校1年生及び2年生の学級を、20人程度の少人数の学級編成をして、授業から学校生活全般にわたってきめ細やかな指導を行い、基礎学力の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園の年間英語活動：12回 ・小学校の年間英語活動 1年生：10時間 2年生：12時間 3年生：15時間 4年生：20時間 ・清水小低学年の20人程度の少人数学級を維持 ・子どもの年齢、環境に切れ目のない対応を実現するため、幼保・小連携を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校においては、予定どおりの時間数で英語活動を実施した。 AET報酬等 4,528 千円 臨時講師賃金等 626 千円 (一般財源) ・清水小学校の1年生については、町で1名雇用し少人数学級を編成。 賃金等 4,025 千円 (一般財源) ・幼保・小推進協議会において、清水ブロック、御影ブロックそれぞれが小学校への入学について、ストレスのないよう交流事業を実施した。 災害により、合同研修会は中止。 消耗品費 35 千円 (一般源) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時講師とAETが授業の補助として入り、子どもたちに対し、興味関心が高まるような活動内容が実施できた。 ・清水小学校において、少人数学級を編成し、基本的な生活習慣や学習規律に重点をおいて指導が実施できた。 ・各保育所、幼稚園、各小学校が相互の交流により、用事と小学校がそれぞれの環境を理解した。 また、保育士と教諭が保育と学習の違いを理解するなどの活動の成果があった。

<p>幼稚園、保育所、小学校の関係者により組織された「清水町幼保・小連携協議会」により、幼保・小の連携を行い、幼児教育と小学校教育との適切な接続を図る。</p> <p>(担当：学校教育課・子育て支援課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>		<p>・保育所・幼稚園の英語活動 4施設×年6回の開催</p> <p style="text-align: right;">賃金等 57千円 (一般財源)</p>	<p>・今後も児童が英語に関心を持てる活動を実施して、小学校の活動に継続する。</p>
<p>子育てガイドブック作成事業 ・「子育てしやすいまち」として、子育て環境のPRを実施する。</p> <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<p>・対象世帯への配布 5年間で100%実施</p>	<p>・対象世帯の平成28年度出生43人全世帯へ配布を行った。</p> <p>・対象世帯への配布100%実施。</p> <p>・その他に子育てガイドブックは、保健事業、子育て支援事業等を通して必要な世帯へ配布を行った。</p> <p>また、清水町の子育て支援を町外へ発信するためのリーフレットを2,000部作成し、移住促進会や道の駅、観光施設等への配布も行った。</p> <p style="text-align: right;">経費 232千円 (一般財源)</p>	<p>・リーフレットについては、配置先の拡充やHPへの掲載など、PR方法を更に検討する。</p> <p style="text-align: center;">A</p>

<p>子ども発達支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする子どもの家庭での育児不安の軽減や解消を更に進める為、相談対応の迅速化、療育計画アセスメント及びカンファレンスの充実と人材育成を図るための環境整備と研修の高度化を行う。(担当：子育て支援課) <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経過観察児の対応 5年間で100%達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・経過観察児の対応は79%程度の対応にとどまった。経過観察児の対応は、ことばの発達調査と知能検査での対応となっている ・平成28年度 相談件数26件 発達に心配のある子どもを持つ保護者の相談に応じた。また、ことばの発達調査や合同ケース会議、個別ケース会議等で個々の対応について協議を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・健康推進係や所属所との連携を密にし、経過観察児を適切な時期に状況の把握、対応が出来るように検討する。 (訪問支援や合同ケース会議の活用) また、研修や学習会を通して発達の理解を進めていく。
---	---	---	---	---

4 安心で生活しやすいまちづくりとともに、広域連携を推進する

<基本的方向>

- (1) 健康で活動的な町民を増やし、コミュニケーションを高め、町民同士の連携と支援によるまちづくりの活動を活発にする

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成28年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>十勝清水人・四季塾事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の潜在的人材の掘り起こし、まちづくりを進める魅力あるリーダーシップを有する人材を育成する「十勝清水人・四季塾」を開設することにより、清水町ならではの個性あふれるまちづくりを進める。(担当：企画課) <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の回数 年間8回 ・塾生：20人 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座回数 年間8回 ・管外フィールドワークの実施 (東川町・剣淵町) ・塾生：22名修了 <p style="text-align: right;">事業費 834千円 (一般財源)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・四季塾第3期が提言発表会を終え修了となり、これまで3期6年間、58名の方が修了されている。 ・人材育成事業としては、一定の成果は終えたものと捉え、今後に向けては、修了生を含め、町民のまちづくりに対する提言を具体化するための支援を行う。

<p>シニア人材参画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識や技術・経験を活かして、元気なシニアがまちづくりのために活躍してもらう効果が期待できる。 <p>(担当：社会教育課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> シニア人材の参画数 5年間で延べ100人 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ボランティアとして、延べ41名が活動された。 <p>(平成27年度合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 延べ84人 	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一定の効果があつたが、更に新規登録に向け推進する。
<p>軽スポーツ促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気なシニア層を生み、健康づくりに対する意識づけが期待できる。 <p>(担当：社会教育課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加者延べ人数 5年間で10%増 (基礎数字1,000人) 	<ul style="list-style-type: none"> ユニカールの参加者数 延べ1,000人 	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユニカールは競技者が特定されることから、新たに誰もが気軽に楽しみながら体力低下を防ぐ、ニュースポーツ「チャレンジ・ザ・ゲーム」の普及に向けて講習会等を実施する。
<p>町民提案型協働モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民提案による住民協働で公共課題を解決する取組みを支援し、人材育成事業と連動して町民によるまちづくり事業を推進する。 <p>(担当：企画課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> 協働事業 5年間で5件 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実施 町民が自ら企画し実施する公共性のある事業や活動に対して、補助金を交付し、協働のまちづくりを推進する。 町民提案型街づくり事業補助金 予算額 1,000千円 (一般財源) 		<ul style="list-style-type: none"> 広く町民に対して事業の周知を行うとともに、行政との連携が必要な提案事業については、積極的な関わりをもち、協働のまちづくりを推進する。

<p>郷土愛醸成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の文化や文化活動を次世代に継承するため、第九などの事業奨励や、地域資源を学ぶセミナー・ワークショップ開催、十勝清水検定等実施により町に誇りと愛着を持つ町民を増やす。 <p>(担当：社会教育課・企画課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 受講者数 年間 10 人 	<p>(第九事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会との共催による「藤澤ノリマサコンサート」を開催。第九を身近に感じてもらうとともに、台風被害の復興を祈念し実施した。 <p>(セミナー・ワークショップなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度の実施に向け、検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して第九文化の継承事業を開催する。 効果的な事業を行うため、事業内容の検討を行う。
--	--	--	---

(2) 将来、町民が安心して暮らせるよう、医療・福祉などの生活機能を確保する

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 28 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>清水町奨学金貸付事業(再掲)</p> <p>(学校教育課) 定住促進</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>		<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>
<p>交通弱者対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの運用充実などを図り、交通弱者の満足度を向上させる。 <p>(企画課)</p> <p style="text-align: right;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス利用者 5 年間で 10% 増 	<ul style="list-style-type: none"> 清水巡回線 137 運行 2,760 人 御影巡回線 96 運行 541 人 <p>3,874 千円 (一般財源)</p> <p>(実績)</p> <p>平成 26 年度 3,499 人 平成 27 年度 3,620 人 平成 28 年度 3,175 人</p> <p>※台風災害による運休 (臨時便代行 45 人利用)</p>	<p>B</p>	<p>地域住民やコミュニティ団体、乗客の意見と需要状況を把握し、JR への接続等も踏まえた中で、利便性の向上を目的に行っている「フリー降車制度」「回数券導入」による割引制度、高齢者の運転免許自主返納者に対する運賃減免制度をさらに周知して、需要増につなげる。</p>

(3) 既存の施設などの資産を有効活用し、将来を見据えた安心・安全な公共サービスを提供する

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 28 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
観光情報発信拠点強化事業 (再掲) (担当：商工観光課) <div style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">定住促進</div>	(再掲項目につき、記載を省略します)	(再掲項目につき、記載を省略します)		(再掲項目につき、記載を省略します)
農村部におけるブロードバンド環境整備事業 ・農村部におけるブロードバンド環境整備を行い、情報伝達網や安定的な通信環境の確保を行う。 (担当：総務課) <div style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">定住促進</div>	・町内全域の高速通信確保 5年間で完了	・市街地の一部においてはブロードバンドサービスは提供済。 ・本町の大部分を占める農村部では民間の事業参入がなく、情報格差は解消されていない。 ・各種伝達システムの調査及び資料収集を実施した。	-	・防災行政無線の更新と併せてブロードバンドの環境整備を検討していたが、災害時における情報伝達方法の見直しが必要であることから、整備方法の再検討が必要となる。 防災無線については、H29 基本設計、H30 実施設計、H31 工事着手を計画している。

(4) 広域連携を進め、効率的で有効な公共サービスを提供する

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 28 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>十勝定住自立圏の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 結びつきやネットワークの強化に向け、まちづくりと連携したバス利用の促進に取り組む。 圏域マネジメント能力の強化に向け、職員の合同研修などを継続するほか、産学官が連携し、ビッグデータ等を活用した十勝圏の現状分析を進める。 <p>(担当：企画課) 定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 十勝管内の観光入込客 (延べ人数) 1,020 万人 十勝管内バス乗客数 462 万人 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度実績については、平成 29 年 9 月頃に公表予定。 (平成 27 年度) 十勝管内の観光入込客 1,036 人 十勝管内バス乗客数 457 万人 	A	<ul style="list-style-type: none"> 広域観光の推進により、効率的な事業の実施や情報発信が可能となり、情報の共有により新たな観光資源の開発や周遊ルートの造成を推進する。 住民の移動手段の確保や利便性の向上を図るため、生活交通路縁の維持確保と利用促進の取り組みを進める。
<p>新たな広域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の市町村や大学などとの連携に取組み、町の産業、観光、教育などの振興について、新たな視点とノウハウを取り入れた施策の取組みを進める。 <p>(担当：企画課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各機関との連携事業の推進 5 年間で 3 事業 	<ul style="list-style-type: none"> 十勝アウトドアブランディング事業 負担金 60 千円 十勝・イノベーション・エコシステム構築事業 負担金 60 千円 クリエイティブ人材移住促進事業 負担金 60 千円 (地方創生加速化交付金 10/10) 十勝・イノベーション・エコシステム推進事業 負担金 50 千円 (地方創生推進交付金 1/2) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な創業、起業支援に向けた「とちかち・イノベーション・プログラム」の周知などによる参加者の発掘と、取組み事例の情報交換や人材の掘り起こし、各種取組みへのマッチングなどを、11 市町村で連携して推進する。

【資料 3】

清水町総合計画審議会 会議結果概略

1. 開催日時 平成29年5月29日（月）13時00分～15時00分

2. 開催場所 清水町役場2階庁議室

3. 出席者

(委員)産業関係 清水町総合計画審議会会長 梶 竹征

清水町商工会長 残間 一憲

清水町商工会青年部 池戸 励

教育関係 清水小学校校長 山下 勇

金融関係 北洋銀行清水支店長 原岡 晃也

帯広信用金庫清水支店長 横井 豊

住 民 清水町総合計画審議会副会長 丸山 良三

十勝清水 人・四季塾修了生 大月 真由美

一般公募 宮崎 幸夫

(アドバイザー)

教育関係 小樽商科大学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門副部門長 北川 泰治郎

官 公 庁 北海道開発局帯広開発建設部地域振興対策室長 土山 雅浩

十勝総合振興局地域創生部地域政策課長 小林 達也

報道関係 北海道新聞帯広支社営業部長 長谷川 達郎

(町 長) 阿部一男

(事務局) 企画課長 田本尚彦、同課長補佐兼政策企画係長 寺岡治彦、
同政策企画係主任 阿部昌仁、同政策企画係主事 高島祐介

(傍聴者) 1名

4. 議題・諮問内容

清水町人口ビジョン・総合戦略における平成28年度実施事業評価について

①平成28年度人口動態について

②平成28年度実施事業評価検証について

5. 出された意見等

委員 目標が達成されたことにより、K P I を見直している取組は非常に良いことだとは思いますが、他の A 評価を受けている事業について、目標の設定値が甘かったという部分があるのではないかと。

町 目標数値の設定見直しについては、所管する部署と調整を行い、更に充実した内容に努めます。

委員 教育・子育て支援については、国を先取りした政策を行っていたが感謝するところではあるが、プラスの反面、保育所への入所児童が増えており施設が窮屈な状況にある。

町 利用者が増えていることに加えて、施設の老朽化という課題も出ており、現在、施設全体の在り方や配置、収容人数なども踏まえ、担当部署に検討するよう指示が出ております。

委員 子育て支援等を行っている自治体に向け、住宅金融支援機構と協定を締結することにより、住宅ローンの金利を下げるという制度が国交省から出ており、5月25日に北海道で3団体が締結されております。今後、更に締結する自治体が増えていくと思われ、清水町の取り組みを見ると、該当すると思われるので検討しては如何かと。

町 制度の詳細については担当部署とも確認をして、検討して参りたいと思います。

委員 清水町のホームページを拝見すると、人口は減少しているが世帯数は増えており、単身の方の転入が多いと推測される。単身者に向けた施策も必要ではないかと。

町 実際に民間の単身者向けマンションも建設されており、他町に通勤されている方もいるとお聞きします。狭い範囲で考えず、広い範囲で通勤圏というイメージを持ちながら、人口対策の施策も必要かと思えます。情報収集を積極的に進め、いろいろな可能性を最大限分析し、対応していきます。

(アドバイザーからご意見)

・一次産業をどうしていくのかを、清水町として考えなくてはならない。安ければ買うというニーズと、良ければ高くても買うという2極化は、もっと進んで行くはず。今後の市場をどう捉えて進んでいけばいいのかが大事。

・広域連携については、十勝圏での取り組みを行っているが、補完性の高いお互いに補い合える市町村との連携も、今後は必要かと考える。

・地域おこし協力隊制度の活用については、各町によって大変極端である。今年度も隊員を任用されているとのことなので、町の手厚いフォローにより定住に繋げていただきたいと思う。

・交流人口について、清水町で高速道路を降りて帯広に一般道で向かう車両が増えている。公園のレストランが閉店されているのは非常に残念に感じる。清水町には交流人口を増やせる要素が多分にあるので、町が潤うようなことに繋げていただければと思う。